

# 山手台中だより ～希望に燃えて～



R5年度  
創立記念日  
特別号

## 30回目の創立記念日

学校長 井川 勝博

11月22日は、本校の創立記念日となっています。30回目(第1回は開校当年)を迎えることになりました。平成6年4月1日、宝塚市立中学校の12番目の中学校として本校が誕生しています。当時は2年生64名(長尾中から49名、南ひばりが丘中から14名、その他の中学校から1名が編入、転入)、1年生60名(長尾小から57名、その他の小学校から3名が入学)の計124名での始まりでした。3年生はいませんでしたので、この当時の2年生が1期生、1年生が2期生となります。つまり、平成6年度には第1回入学式、卒業式はなく、次年度に第1回の卒業証書授与式が行われています。本校で同じ年度内で入学式、卒業証書授与式の回数がずれているのはそういった理由があるのです。ちなみに今年度3年生は29期生、2年生は30期生、1年生は31期生ということになります。

平成7年(6年度)3月17日(阪神淡路大震災の2か月後のことです。)には開校記念式典が行われたという記録が残っております。記念式典では校章・校歌・ロゴマークの紹介がされています。

校章には、

多くの緑の樹々に囲まれ、みんなと共に手と手を取り合い、

希望に燃えて高く大きく伸びる山手台中学校

鋭さとたくましさを秘め、どっしりと腰を据えた長尾山連山、

未来に向かって高く大きく伸びる山手台中学校

の意味が込められています。

校歌は、

知徳体の調和のとれた未来を担う生徒の育成をめざし、1(徳)・2(体)・3(知)をうたい、また「ああ友と集う」と「我ら」を繰り返すことで、愛校心を強調している

とのことでした。

開校されて今年度は30年目。昨年度末までに2563名の先輩方が本校を卒業されています。当時の本校は「自己教育力をつけ、生涯学習社会を生き抜く、人間作りの場」としての意味合いがあったようです。そして開校当初ゆえに、生徒たちは「自分たちの手で」という意識も大きかったようです。30年の時がながれ、時代が移り変わり、学校としても変わったこともありますが、依然として変わらない伝統もあります。受け継ぎ変えることをせずに守っていく伝統もあれば、そこに生きている人間が作っていく伝統もあります。そのときそのときに、その時代その時代に、良い学校を作り上げていくためには、そういったことを繰り返していかなければならないのでしょう。「いま」よりも、よりよい学校づくりをめざしていけば、その繰り返しは自然と行われることになるのでしょう。これからも本校は、長きにわたり、生徒を受け入れていくこととなります。そのときの生徒たちが過ごしやすい学校であるために、何よりその礎となるためにも、いまこのときの本校がより素晴らしい学校になれるよう力を入れていかなければならないと強く感じています。



*Yamatedai*  
JHS